

姫路歯科衛生専門学校 会議録			
会議名	令和4年度 第一回 教育課程編成委員会		
日時	令和4年9月15日(木)	18:00~19:00	開催場所 事務室(郵送纏め)
参加者	【内部委員】長川泰次郎・岸幹二・小松陽子・北香緒里・長川まち子・長川昌代 【外部委員】矢尾和彦・岩崎小百合・中川豪晴・三木裕子 (事務局)長川昌代		
会議概要	この度は、新型コロナの対策により、書面で以って対応することとした。 日時・定刻の時間より開始とみなし。内部委員で書面を纏めた。 ① 前回の会議録の確認 ② 議題「令和5年度 教育課程編成計画(内容:改善点)について(内容は下記) 次回開催予定日は令和5年2月16日(木)18:00~と予定し、会は終了した。		

協議内容	
■	令和5年度の教育課程編成の計画(内容:改善点・意見)
○	令和5年度のカリキュラムの変更予定はない。
	(1) 高齢者施設での実習が再開されたが、代替え授業として実施していたマナボットを利用した高齢者への口腔衛生管理の実習を取り入れたカリキュラムを実施する。
	(2) 新型コロナウイルス感染拡大の状況下であっても、感染対策を行い、学内での相互実習を実践していく。(スタンダードプリコーションの徹底)
	(3) 歯科予防処置Ⅲにおいて、卒業前に実践に即した技術を修得するために、業者による研修を取り入れる。
○	3年次の学習について
	→ 国家試験対策が最も重要な問題と考える。現実には担任のみが責を負うわけではなく 実際は総教官が個々に対応する。教官の絶対数が足りない現状は早急に充足することが望まれる。
	→ 単位(卒業)認定試験は担当教員が作成するため問題の内容に限界がある。同様に問題数が多いため予測しやすい問題が多くなり合格点に達しやすいと考える。 卒業試験のハードルを上げるために合格点の設定を上げてはどうか?
■	その他
	→ 主要三教科は点を取りやすい また、実習等での関連で理解も高い 主要三教科のみ、早めに強化するのはどうか? 主要三教科を卒業試験までに8割とれるように目指す。

姫路歯科衛生専門学校 会議録			
会議名	令和4年度 第二回 教育課程編成委員会		
日時	令和5年3月16日(木)	18:00~19:00	開催場所 事務室(郵送纏め)
参加者	【内部委員】長川泰次郎・岸幹二・小松陽子・北香緒里・長川まち子 【外部委員】矢尾和彦・岩崎小百合・中川豪晴・三木裕子 (事務局) 長川昌代		
会議概要	この度は、新型コロナの対策により、書面で以って対応することとした。 日時・定刻の時間より開始とみなし。内部委員で書面を纏めた。 議題に移り、「令和4年度の実績、令和5年度の教育課程編成の計画(内容)、令和6年度の教育課程編成の計画(概要)について協議した。(協議内容は下記。) 次回開催予定日は令和5年8月3日(木)18:00~と決定し、会は終了した。		

#### 協議内容

##### ■令和4年度の実績

- ・令和3度より歯科医学総論単位試験(旧卒業試験)の合格点を7割以上に変更し154点以上を合格とした。今後、再試験8割以上はどうかの意見があった
- ・今年度は、2年ぶりに中止されていた病院実習を行うことができた。
- ・高齢者施設実習については、今年度も中止となったため、昨年度と同様の内容で代替え授業を行った。
- ・学内での相互実習は、感染予防対策を徹底し実施した。臨床実習を補うためにも、相互実習の充実を計る必要を感じた。

##### ■令和5年度の教育課程編成の計画(内容)について

- ・教員の充足(増員)
- ・再試験の問題作成について、単位試験と同じ問題ではなく、選択肢の入替え40%、全く違う問題を30%程度で、内容を変更して作成していただく。
- ・歯科医学総論の問題作成依頼時に、問題の解説を作成していただくよう講師に依頼する。
- ・感染予防対策を徹底し、学内での相互実習を実施する。
- ・高齢者施設での実習再開
- ・「マナボット」を活用した口腔衛生管理の実習
- ・歯周病予防処置の技能評価において、学生の手技の上達、教員評価を統一させる
- ・臨床の学びを生の声として現場の歯科衛生士より学ぶ機会を増やしてほしい。(ゲストティーチャー)

##### ■令和6年度の教育課程編成の計画(概要)について

- ・他職種の講師を招き歯科衛生業務との連携(テーマを明確にする。)を学ぶ授業の実施